

形式：オンラインセミナー（Live 配信）

補足： Live 配信に加え【見逃し配信】も実施します。当日の受講が難しい場合は見逃し配信をご視聴ください（配信開始は開催後 3 営業日以内。配信期間は 1 週間程度）

ジャンル：化学・材料

講習会コード： t d s 2 0 2 6 0 8 0 5 t 1

永遠の化学物質“PFAS への規制が世界的に加速する中、企業には製品設計やサプライチェーン管理を含む包括的な対応が求められています。本講座では、最新の国内外規制動向と今後の展望、分析評価の実務ポイントを、専門家がわかりやすく解説。PFAS 対策の第一歩として最適な入門講座です。

国内外の PFAS 規制動向と分析評価

講師：技術コンサル サポサス（SuppoSust） 代表 兒玉哲夫 氏

■日 程：2026 年 8 月 5 日(水) 13:30~16:00

■資 料：PDF のダウンロード

■受講料：27,500 円(税込/テキスト付)

■経歴 1983 年、東洋紡株式会社に入社。分析部門で製品開発やその分析評価と共に社内外の環境分析や作業環境測定等を実施。事業所内の危険物、毒劇物、有機溶剤、特化物等の管理システムの構築、環境安全部門では環境マネジメントシステム（ISO14001）、品質マネジメントシステム（ISO9001）、労働安全衛生の教育や取りまとめ、社内・工場・グループの監査も実施。また、REACH 等の化学物質管理システムの構築とグループの管理体制づくりを推進した。2010 年、東洋紡を退職後、主に繊維製品を検査する（一財）ポーケン品質評価機構に入社。分析部門で食品衛生法（器具・容器・包装）の検査を立上げ、建材や家具等の VOC（シックハウス）分析や様々な分析評価をする中、製品中の有害物質の分析、CSR（企業の社会的責任）監査やコンサルテーションを実施

1. PFAS とは

2. 米国の PFAS 規制状況

- (1) 州の飲料水 PFAS 規制状況（2018）
- (2) 米国州の飲料水 PFAS 規制状況（2024）
- (3) 米国州はさらに製品・用途規制を拡大

3. EU の PFAS 規制状況

- (1) EU 飲料水指令 Directive (EU) 2020/2184
- (2) EU 技術通知 Commission Notice C/2024/4910
- (3) REACH 規則／POPs 規制（article 対象）
- (4) PFAS 含む食品接触材（FCM）適合判定フロー
- (5) 包装・包装廃棄物規則（PPWR）
- (6) 繊維・衣料・その他

4. 日本の PFAS 規制状況

- (1) 不適合な状態
- (2) 基準設定
- (3) PFOS, PFOA 及び PFHxS の前処理・分析方法

5. アパレル・フットウェアのグローバル認証における化学物質管理（PFAS 規制）

6. PFAS 分析対応

7. PFAS 段階的廃止ガイダンス

<概要>

PFAS（ペルフルオロアルキル化合物およびポリフルオロアルキル化合物）は、極めて安定な C-F 結合を持ち、自然界でほとんど分解されないことから「Forever Chemicals（永遠の化学物質）」とも呼ばれています。耐熱性・耐油性・耐水性に優れ、フライパンのノンステック加工、撥水・防汚加工、泡消火剤、食品包装紙、半導体製造、化粧品など、幅広い製品に使用されてきました。しかし、その高い残留性と健康・環境への影響が懸念され、世界的に段階的な使用廃止（phase-out）が進められています。本講座では、PFAS の基礎的な性質と用途を解説したうえで、米国や EU を中心とした最新の規制動向を紹介し、特に、飲料水から製品・用途規制への拡大、含有量規制から意図的使用の禁止、さらにはサプライチェーン全体の管理へと進む規制の潮流を整理します。日本においても、化審法による PFOS・PFOA・PFHxS の規制や、2026 年 4 月からの水道法改正による基準値設定など、対応が急務となっています。

また、日本特有の課題として、水質規制偏重、旧製品の残存、製品含有閾値の未整備、輸入品管理の難しさ、高額な分析費用などが挙げられます。企業にとっては、単なる分析対応にとどまらず、意図的使用の排除、代替材料の設計、サプライヤー証明の取得、製品用途の精査、認証制度への対応など、包括的な取り組みが求められています。今後、PFAS 規制は包括的な物質群規制や全用途禁止へと進展し、代替困難な用途のみが例外とされる可能性もあります。本講座では、こうした動向を踏まえ、企業が PFAS フリー設計へと移行するための実務的な視点と対応策を提供します。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）


FAX
03-6261-7924

申込講座	2026/8/5 国内外の PFAS 規制動向と分析評価		
申込プラン	<セミナーにお申込の場合> 複数の申込プランがある講座については、申込プランの番号をお知らせください。 申込プラン： <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/>	<オンデマンド講座にお申込の場合> 受講開始日は毎月の第 2 月曜日と第 4 月曜日となります。ご希望日をご記入ください。 ※申込期限は視聴開始日の 1 週間前となります。 受講開始日： <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> 月の第 <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> 月曜日	
会社名※			
所在地※ <small>(請求書等の送付先)</small>	〒		
参加者①	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
	Email※		役職
	会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>(登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)</small>	
支払方法※	<input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF 請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
支払予定日※	<input type="checkbox"/> [] 月 [] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
備考※			

※【個人情報の取扱いについて】 ご記入された個人情報については、当社規定の「個人情報の取扱い」に基づき、適切に管理・運用いたします（詳細 https://www.tech-d.jp/privacy/apply_privacy.pdf）。

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	（普） 0 9 7 3 5 2 2
名義	株式会社テックデザイン

主催 申込・問合せ先	名称	株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ）		
	住所	〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-12-15 九段大和ビル 3 階		
	電話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		